

第 85 回日本マイコトキシン学会学術講演会では、学生会員の口頭発表およびポスター発表の中の優れた発表に対して、ベストプレゼンテーション賞を授与しました。16 名の学生を 4 つのグループに分け、それぞれのグループについて 4 名ずつ、全体で合計 16 名の審査員が (1) スライド (ポスター) の適切さ (見易さ、理解し易さ)、(2) 発表 (説明) の分かり易さ、(3) 質疑応答の適切さ、の 3 項目について 5 段階で絶対評価しています。以下の 3 名の方が授賞されました。

P-03 小泉慶明 (東洋大学理工学部)

「*Trichothecium roseum* の生合成経路解明に向けた feeding 実験」

P-10 佐藤大河 (福井工業大学環境情報学部)

「殺虫器で収集した羽虫などからのアフラトキシン生産菌の単離」

(佐藤大河、福田和也、山口崇大、飛弾一平、雷 祥雨、阮 青佐、矢部希見子の各氏を代表して受賞)

P-16 北島誠也 (東京理科大学基礎工学部)

「昆虫病原菌 *Cordyceps cardinalis* が産生する二次代謝産物の毒物評価」

(北島誠也、田村友和の各氏を代表して受賞)



授賞式の様子：

左上から時計回り順に小泉慶明氏、佐藤大河氏、北島誠也氏